



たまき 社協だより

2017.2 No.61

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876-1
TEL 0596-58-6915 / FAX 0596-58-6916
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
E-mail tamasya@amigo2.ne.jp

たまきの元気人



新民生委員始動

12月から新しい民生委員体制となり、初めての活動が年の瀬迫る12月30日に行われました。

これは、75歳以上のお一人暮らしの方に歳末「まごころ弁当」をお届け頂きながら年末の安否確認を兼ねるもので、共同募金配分金事業の一環として、毎年行っています。

事前に、対象になる方のお宅を一軒ずつ訪ねて希望の確認も取っていただきました。

寒空の下、あたたかい気持ちのこもったお弁当と笑顔を届けていただいた民生委員のみなさんでした。



歳末「まごころ弁当」は160名の方にお届けいたしました

(敬称略)

外城田地区



田丸地区



有田地区



主任児童委員



下外城田地区



民生委員・児童委員の全国一斉改選に伴い、玉城町では、厚生労働大臣から民生委員33名、主任児童委員2名が委嘱されました。

民生委員・児童委員とは

☆地域住民の立場にたって、地域の福祉を担うボランティアです。厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。給与の支給はなく、ボランティアとして活動しているもので、任期は、3年です。

☆地域を見守り、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役です。

担当地区において高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子どもたちへの声かけなどを行なっています。介護の悩み、失業や経済的困窮による心配ごとなどさまざまな相談に応じます。内容に応じて必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。

主任児童委員とは

☆子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。

民生委員・児童委員は、町に置かれる「民生委員児童委員協議会」(民児協)に所属しています。事務局を社会福祉協議会に置いて活動しています。

協議会での主な活動は次の通りです。

- 定例会 月1回
 - 心配ごと相談 毎月10日・30日
 - 赤い羽根街頭募金 10月1日
 - あいさつ強化デー 毎月第3火曜日
 - 下校時安全パトロール
 - 歳末安否確認事業「歳末までこころ弁当」配食
 - 生活福祉資金貸付事業
 - 一人暮らし高齢者への絵手紙訪問事業
 - 一人暮らし高齢者の交流会事業
 - 敬老祝金配布事業
 - 小・中学校訪問
 - その他、各関係機関との連携・協働及び各行事への参加
- など、地域住民が安心して生活できるまちづくりのためにさまざまな取り組みを行っています。

民生委員制度は、今年100周年を迎える歴史と実績を有する制度です

民生委員制度は、大正6年に岡山県で創設された「済世顧問制度」に始まり、以来100年にわたり、住民の一員として、種々の福祉課題を明らかにしながら、そうした社会的課題改善のための全国運動に取り組み、その後の福祉施策の充実に貢献してきました。制度創設100周年を迎えるこの機会を活かし、さらに多くの人びとに民生委員・児童委員活動への理解を深めていき、支援の輪を広げていきたいと考えています。

『福祉協力員』が委嘱されました

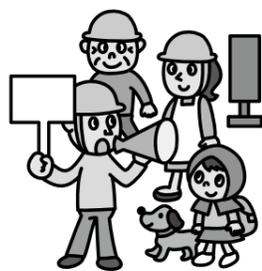
任期：平成28年12月1日～平成31年11月30日

民生委員・児童委員を経験された15名の方々が、玉城町社会福祉協議会会長から委嘱を受け、福祉協力員となりました。3年の任期となります。

福祉協力員とは

災害時に自力での避難が困難な地域の要援護者を把握し、支援することを主な目的に、活動します。その支援体制を作るために、日頃から地区の民生委員や関係機関とも連携し、ネットワークづくりも推進します。

また、サロン活動等地区の実情に合わせた福祉活動にも協力し、あいさつ強化デーやほっぴいサークルにも取り組んでいます。今回福祉協力員になられた方々は、次のとおりです。



氏名	地区
藤川 幸子	蚊野茶屋
穂積 和子	南新町
北村 禮子	大手町
松井 八重子	下田辺
坂井 亘	門前
植村 哲雄	世古
中北 佳代子	山岡
中野 孝世	原
大西 清	積良
向井 稔	上町
松田 好洋	新田町
上村 美智子	羽根
風口 千早	長更
福本 充	宮古
藤本 豊	小社

(敬称略)

■玉城ミュージックモンスターフェスティバル(TMMF)

11月13日、中央公民館で開催された「玉城ミュージックモンスターフェスティバル」に「たまき人」のPRをするため参加しました。

「たまき人」は町内に住む人、働く人、玉城町を応援する全ての人を指した呼び名で、音楽を通してそれが見える形になるよう、参加者は、町

内の小学

生、大人、

町内企業

にお勤め

の方、玉

城を応援

してくれ

る人で構



出演時の様子

化祭などでも演奏いただいたことのあるアルケミストの『あの空』を歌い、子どもたちを中心に声と演奏が会場中に響き渡りました。たまき人が得意分野でつながる楽しいPRの場となりました。

■地域福祉座談会 玉城中学校

3年目の取り組みとなる座談会は、中学生とたまき人が一緒に福祉について学び、意見を交わすことで、地域の課題に対する気づきの視点や地域の一員として考えることを目的に中学生の授業の中で開催しています。

今回は、中学2年生の授業として行い、生徒155名を含む総勢217名が参加しました。

講師に伊勢志摩バリアフリーツアーセンター事務局長 野口あゆみさんを迎え、ツアーセンターが推奨する「パーソナルバリアフリー基準」について、その活動の内容やどのような視点で活動されているのかを伺いました。

パーソナルバリアフリー基準は、旅行者が障がいによって行けると

ころを選ぶのではなく、行きたいところ、楽しみたいことを実現してもらおうという考え方で、旅行者一人ひとりの状況に合わせて情報提供や旅行アドバイスをつアーセンターでは行っているとのことでした。

障がいがあるから…こうあるべき、こうすべきではなく、その人本来の気持ちを受け止め応援することがその人をバリアフリーな気持ちにさせる大事なものでないかとおっしゃっていただきました。

また、講演の後引き続き、聞いたことをもう少し自分たちで考えてもらおうと皇學館大学教育開発センター助教 池山敦さんにグループワークの時間を設けていただきました。

この時間は、車いすの体験から車いすの機能を知り、また車いすをネガティブなイメージだけで考えるのではなく、車いすをもっとかっこよく、可愛くするという視点で想像力を膨らませて向き合うという内容でした。

子どもたちは、大人の意見に耳を傾けながら、「ああすればいい」

■楽笑会

高齢者や地域の方との交流会を田丸小学校、外城田小学校で開催しました。

田丸小学校(参加者83名)

昔の遊びを中心に6つのふれあいコーナーを4年生の児童が考え、それをグループで体験するという内容で行いました。

「自分たちが考えたもので参加する高齢者の方が喜んでくれているのが嬉しかった」、「みんなが笑顔でよかった」と子どもたちが感想をもらっていました。

参加されてる方からは、「いつも誰とも話さずに一日過ぎていくこともある。今日はたくさん話が出来てよかった。楽しかった」と明るく元気に帰られる女性もいらっしゃいました。



こま遊びの様子

ほほえましい交流の場面があちらこちらで見られる会になりました。

外城田小学校(参加者83名)

今年は、

外城田地区に伝わる干し柿づくりの文化を受け継ぎ、広めていきたいとの子どもたちの企



柿の皮むき作業

画で『干し柿づくり』を6年生のみなさんと一緒に交流しました。参加される方も「初めて作るわ」「楽しみやなあ」と、まずは、干し柿にまつわる文化と作り方の手順を子どもたちから聞きました。

作業の途中では、参加者の皮むき名人、ロープ結び名人が出現し、子どもたちから「すごい」と感嘆の声が上ががり、出来上がりまでは子どもたちが管理してくれます。

12月の中頃、子どもたちが参加者のお宅に出来た干し柿とお餅メッセージカードを添えて、届けられました。

「よいお正月を迎えられそうやわ」と参加者の顔もほころび、心のつながりがうまれた活動になりました。

はっぴいサークル冬

12月27

日に行わ

れた冬の

はっぴい

サークル。

このサー

クルは

町内在住

の特別支

援学級の児童を対象に、民生委員

をはじめ地域のボランティアと

共に楽しみ、地域で交流する場と

して、長期休暇中に行われています。

この日の活動である昼食づくり

は、豚汁とおにぎり。おやつは白

玉ぜんざいとみたらし団子も作りました。

自分たちで作った昼食は格別！

「おかわり！」の子ども続出！

福笑いや羽根つきで少し早いお

正月気分も味わい、元氣いっぱい

な笑顔と笑い声が響いた冬休みの

よい思い出が出来ました。



調理の様子

老人クラブ連合会

恒例の門松づくり

12月21日、保健福祉会館入口の門松づくりが行われました。

今年は、可愛い園児の見学もあり、子どもたちは、立派なお正月飾りが出来上がっていく様子に見入っていました。

手作りの門松に子どもたちの健康を願い飾られました。

会員のみなさん、ありがとうございました。



子どもたちが見守る中、作業する会員

「こうすればいい」と楽しそうに意見を出し、グループの意見をイラストにまとめていました。

雨よけをつける、ドリンクホルダーをつけるなど機能的なことから、マッサージ機能をつける、空を飛べるようにするなど楽しい想像を広げてくれました。

一人ひとりの気づきから一緒に考え、優しいまちづくりにつながっていくことを願っています。



講師:野口あゆみさん



グループワークの様子

児童とともに思い出作りにご協力いただけるボランティアを随時募集しております。詳しくは玉城町社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。

赤い羽根共同募金 協力のお礼

ありがとうございます
今年も、10月から各自治区をはじめ職場などから赤い羽根共同募金・歳末募金運動への協力を賜りありがとうございます。
皆さまからの温かいご支援・ご協力のもと、

1,813,155円
(12月28日現在)

が寄せられました。本当にありがとうございました。

ご協力いただいた募金は、県共同募金会から配分金として還元され、玉城町の地域福祉事業に役立させていただきます。

12月22日には、ボランティア団



歳末街頭募金の様子

体による歳末街頭募金運動が行われました。

味工房アグリ、グッデイ、Aコープの町内3か所で活動を行い、年末の買い物にいられた方へご協力の声掛けを行いました。

寒空の中、34,111円の温かいお心をお寄せいただきました。

福祉・介護の就職フェア

福祉・介護の仕事をお探しの方を対象に、就職相談会を開催します。

日時 平成29年2月12日(日)

午後1時～3時30分

会場 三重県総合文化センター

第1・第2ギャラリー

(津市一身田上津部田1234)

対象 福祉・介護の職場に就職希望、または関心のある

一般・学生

※託児室あり。

(予約制2月7日(火)締切)

申し込み・お問い合わせ

三重県社会福祉協議会

三重県福祉人材センター

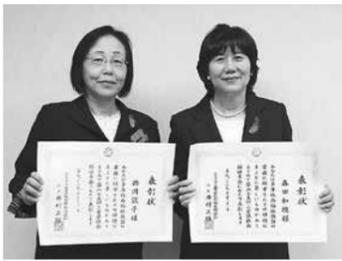
TEL・059・227・5160

三重県社会福祉協議会 会長表彰

10月21日、県総合文化センターで三重県社会福祉大会が開催され、永年の社会福祉への功労が認められ、次の方が表彰されました。



会長表彰
(民生委員・児童委員功労)
松田 敏己様



会長表彰
(社会福祉施設功労)
西岡 敦子様 森田 和枝様



感謝
(社会福祉事業協賛団体)
花いっぱい運動様

三重県身体障害者福祉会 会長表彰

11月27日(日)、亀山市文化会館にて、三重県身体障害者福祉大会が開催され、団体体育成功労の表彰を高谷正次様、大西峯行様が受けられました。



大西様 高谷様

春から始めませんか 楽しく活動参加者募集

『手話っちカフェ』

手話に楽しくふれる会です。気軽に集って障がいの理解を深めませんか。

体験日 3月11日(土)

時間 10時～12時

場所 玉城町保健福祉会館

みえ防人塾 4期生募集

三重県では、防災・減災活動を担う人材を育てています。

そこで、玉城町ボランティアセンターでは、ボランティアの育成として防人塾を受講される方を募

平成29年度 ボランティア活動保険加入手続きが始まります

ボランティア活動中のさまざまな事故によるボランティア活動者の傷害や賠償責任などについて補償する保険です。

玉城町ボランティアセンターではボランティア活動に参加される方にご加入いただくように推奨しております。

ボランティア活動とは、自発的な意思により活動するもので、他人や社会に貢献し、無償の活動を指します。小・中学生でも加入できます。また、活動場所までの往復や活動のための学習会なども対象になります。

日本国内での被災地支援に行かれる場合にも、加入が必要となります。補償期間は、4月1日から翌年3月31日までとなり、途中加入においても3月31日までとなります。

手続きは、社会福祉協議会窓口で所定の「加入申込書」をご記入いただき、保険料を添えてご提出いただきます。

ご加入いただき、安心して活動に参加しましょう。

尚、ボランティア団体に所属されている方は、3月にまとめて手続きを行います。

補償金額

	Aプラン	Bプラン
死亡保険金	1,320万円	1,800万円
入院保険金 日額	6,500円	10,000円
通院保険金 日額	4,000円	6,000円
賠償責任 保険金	5億円(限度額)	5億円(限度額)

保険料

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ	500円	710円

※天災タイプは、地震や噴火など天災に起因する自身のケガを補償するものです。

「平成28年新潟県糸魚川市大規模火災義援金」の受付について

受付期限 3月31日(金)まで
受付口座 ゆうちよ銀行・郵便局
口座番号 0013017602726
口座加入者名 日本赤十字社

※ゆうちよ銀行の振込用紙の半券が受領証の代わりとして、税制上の措置が受けられます。

※窓口でのお振り込みの場合は、振込手数料は免除されます。(ATMによる通常払込みおよびゆうちよダイレクトをご利用の場合は、所定の振込手数料がかかります)

※その他の事情により、赤十字が発行する受領証をご希望の場合は、「受領証希望」の旨と次の①～⑧を日本赤十字社パートナーシップ推進部にてFAXにてご連絡をお願いいたします。なお、現在大変多くの協力をいただいておりますので、受領証発行にはしばらく時間を要します。ご了承ください。

- (FAX) 03・3432・5507
- ①義援金名 ②氏名(受領証の宛名)
- ③住所 ④電話番号 ⑤寄付日
- ⑥寄付額 ⑦振込人名 ⑧口座番号

事務担当 日本赤十字社

三重県支部組織振興課
TEL 059・227・4145
FAX 059・227・6245

第15回 玉城町社会福祉大会

日時／平成29年2月11日(祝・土) 9:00～12:00
場所／玉城町中央公民館多目的ホール

第1部

- 9:00～ 式典
- 顕彰(社会福祉の増進に貢献された方または団体)
 - 福祉の作文・しあわせフォト表彰・発表
 - 福祉協力校の発表

第2部

- 10:30～ 講演会
- 「物書きの家に嫁いで」 講師:藤原 美子さん(旧姓田丸)
- 講演にご参加いただくには、整理券が必要となります。(参加費:無料)
- 配布開始:平成29年2月1日(水) ※平日8時30分～17時
- 配布場所:玉城町教育委員会及び玉城町社会福祉協議会

社会生活の最小単位は、家庭であるとよく言われています。人生の礎をつくる家庭の大切さを振り返ってみましょう。

講師プロフィール

● 略歴／田丸城城主、田丸直昌の直系。化学者の両親が米国ニュージャージー州プリンストン大学で研究生活を送っていたため、彼の地に生まれる。神奈川県立湘南高校卒業、お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程修了(心理学専攻)。卒業と同時に数学者、藤原正彦と結婚。武蔵野市教育委員会教育相談所に教育相談員として勤める。退職後、子育てをしながら翻訳やエッセイを執筆。筑波大学附属盲学校(現在、筑波大学視覚特別支援学校)で心理学を教え始める。1987年-1988年、一家で英国ケンブリッジに滞在。現在、ハリウッド大学院大学教授、筑波大学附属視覚特別支援学校講師。

- 12:00～ 健康マイレージ抽選会
- その他 ● 福祉協力校の活動発表 ● 障がい者福祉施設製品販売

身近な 社協相談窓口ご案内

心配ごと相談(予約不要)

毎月10日、30日 13:00～15:00
 玉城町保健福祉会館にて

相談員：
 民生児童委員
 人権擁護委員
 行政相談員



あいさつ強化デー (毎月第3火曜日)

家庭・地域・学校・職場
 いつでも・どこでも
 だれとでも
 あいさつの輪を
 広げていきましょう。

ご寄附ありがとうございました(10月～12月)

山口 高生様	30,000円
玉城町民ゴルフ大会代表幹事 山口 欣也様	82,557円
野口 安久様	53,642円
ミマス労働組合様	20,000円
京セラドキュメントソリューションズ株式会社様	331,585円
京セラドキュメントソリューションズ労働組合様	67,510円
匿名様(夢工房たまきへ)	10,000円
元気バス募金箱	115,189円



昨年11月に玉城町民ゴルフ大会様よりいただいたご寄附で、貸し出し用の車いすを購入致しました。